

畜産ティーン育成プロジェクト

若者が描く未来の畜産



消費者



生産者



両方

畜産業がどんなものか生産者が伝えるだけでなく消費者も畜産に興味、関心を持つことが大切。両方が「変わろう、変えてみよう」とする意識が生まれることで畜産業は良いものとなると思う。

Q 消費者が畜産に関わるためには？

1. 放牧やふれあい牧場を行い畜産を身近に
2. SNSの活用やTV放送で明るい話題を取り上げる
3. 学校などで畜産の授業の導入

↓ しかし...

新規就農者や学生である若者の私たちだけの力では実現できる範囲が狭い！

→ 消費者や先輩農家たちの力が必要。

畜産業はなくなるとはいけない大切な仕事であって半永久的に持続可能な畜産業を創り上げよう😊

長崎県立諫早農業高等学校 宮田 田沙